

剣淵町をもっと知ってもらいたいです

剣淵町観光マップ作成と剣淵いいもの広げ隊の活動を通して



根本 樹(ねもと たつき)
北海道剣淵高等学校 2年

松浦 依舞姫(まつらいぶき)
北海道剣淵高等学校 2年

活動概要

活動の内容

私たちは、剣淵町の知名度が低いことが課題であると考え、高校生が作る剣淵町観光マップを作成しました。活動の序盤には、町内外の人に向けて現行の剣淵町観光マップについて、アンケート調査を実施しました。結果、町内の距離感や飲食店の感想などが求められていることが分かり、自分たちが作成した観光マップでは、実際に移動した時間や施設を訪れた感想を入れるよう工夫しました。また、本校の公式Instagramにも剣淵町の名産品を使った料理のレビューや町内サイクリングのレビューをアップし、剣淵町の魅力を発信しました。

活動の特徴(新規性・発展性)

高校生が観光マップを作成することで、これまでの観光マップには無かった、若者の視点が加わった観光マップを作成することができたと考えています。高校生の感想が入った観光マップは、全国の観光マップを分析しましたが、自分たちが初めてだと考えています。また、観光マップは完成次第、観光協会などに配付し、幅広い人への手に渡るとともに、データがあれば増刷することができるため、今後も広め続けられます。

活動の成果

剣淵町の知名度アップに貢献できるのではないかと考えます。自分たちが作成した観光マップについて、アンケート調査を行ったところ「高校生が飲食店などに行った感想が入っていて分かりやすい」「町内の距離感が分かり、剣淵町で観光するイメージができた」といった意見がありました。このことから、自分たちが使った観光マップによって剣淵町を多くの方に知ってもらうことができ、剣淵町の魅力を発信できました。

課題の設定と意図

私たちは、剣淵町の知名度が低いこと、剣淵町の魅力を知っている人が少ないことを課題に設定し、今回の活動に取り組んできました。

この課題を選んだ理由は、2つあります。1つ目は、剣淵高校に入学して、町外から来たクラスメイトが「入学するまで剣淵町を知らなかった」と言っていたのを聞いて、剣淵町を町外の人にあまり知られていないのではないかと考えました。他にも「剣淵ってどこにあるの?」と聞かれたり「剣淵ってどんな町?」と聞かれたりすることが良くあります。だから私たちは、剣淵町の知名度をアップさせたいと考えたからです。2つ目は、剣淵町には魅力が多くあるにも関わらず、その魅力に気付いていない人が多いと思ったからです。実際に私たちは剣淵町在住で、町内の観光地や魅力について知っていると思っていましたが、高校入学後、町内の観光地に行ったり、町づくりや剣淵町の魅力発信を積極的に行っている方々にインタビューを行い、自分たちの知らない剣淵町の魅力がたくさんあることに気が付きました。私たちのように、剣淵町の良さに気付く人が多くなってほしいと考えています。

課題解決のための仮説と計画

私たちは、剣淵町を多くの人に知ってもらい、剣淵町の良さをアピールしていくために、現行の剣淵町観光マップを進化させた、高校生が作る剣淵町観光マップの作成することが有効ではないかと考えました。また、剣淵町の魅力を発信するために、学校のInstagramを通して剣淵町で行うことができる魅力的なアクティビティや剣淵町の特産品を使った料理のレビューを発信していくことができると考えました。以上のことを仮説とし、その仮説が正しいか検証するため、以下のことを計画しました。

1. 自分たちで剣淵の課題を見つける
2. 剣淵町の観光の要所で働いている方々にインタビュー
3. 現行の観光マップに関するアンケート
4. 剣淵のサイクリングコースでサイクリング、剣淵の特産品のキヌアでお菓子づくり、レビューをInstagramで発信
5. 他の市町村の観光マップ分析
6. 高校生が作る剣淵町観光マップの計画立案
7. 高校生が作る剣淵町観光マップの作成
8. 現行の観光マップと作成した観光マップの比較アンケート
9. 観光マップ配布

計画を立てた当初は高校生が作る剣淵町観光マップの作成のみを行う予定でしたが、活動を進めていくうちに、この活動をする自分たちが知らない剣淵町の魅力が多くあるということに気が付きました。そこで、自分たちがサイクリングコースでサイクリングをしたり、剣淵町の農業特産品キヌアを使ったレシピのレビューをInstagramを活用して発信するという内容を加えました。

活動で工夫できたこと

私たちが今回の活動で工夫した点は、3つあります。1つ目は、客観的な意見や情報を取り入れることです。私たちは剣淵町の課題を話し合う際、客観的な意見を取り入れるために現行の観光マップについて、町内外の方を対象にアンケートを実施しました。また、他の市町村の観光マップを分析し、良いところや改善点を挙げ、自分たちが作成する観光マップに応用しました。2つ目は、直接会って対話することです。オリエンテーション合宿に参加した際、自分たちで足を運んで聞くこと、顔を合わせて聞くことで気持ちが伝わるということを学びました。そこで、剣淵町の主要な観光施設で働いている方々に、自分たちが向かいインタビューを行うよう工夫しました。その結果、インタビューを行った皆さんから私たちの活動に賛同の言葉をいただき、観光マップの作成に有益なアドバイスをいただくなど、協力していただくことができました。3つ目は、魅力的な観光マップを作成するための必要な要素についてです。インタビューをさせていただいた剣淵町観光協会の平様から「剣淵らしい観光マップにすると良い」という意見や、VIVAアルノ牧場の中田様から「施設にたどり着くために何を目印にしたら良いか取り入れると良い」とアドバイスをいただきました。実際に自分たちが観光マップを作成するにあたって、絵本の里である剣淵らしさを取り入れたり、各施設までの距離や移動時間、目印となるものを観光マップに取り入れるように工夫しました。

また、剣淵のご当地郵便ポストの除幕式に参加した際、「絵本作家さんがデザインしたご当地ポストが3つもある自治体は日本中でどこを探しても剣淵町だけ」と情報を得ましたが、これほど貴重な情報を発信するための取材メディアが来ていないという状況だったことから、高校生が主体的に情報を獲得し、積極的に発信することが町の活性化に貢献できる活動であると確信しました。



根本 樹

今回の活動の中で多くの学びがありました。その中でも私は、インタビュー調査を通して普段聞くことができない話を聞かせていただき、新たなことを行ったり、物を作ったりするときに何が必要なか学ぶことができました。その学びをできたのがオリエンテーション合宿で、美瑛町で「リンネ」というクラフトビールを作った荒井さんへのインタビューでした。荒井さんは、ご自身がクラフトビールを作ったり、バーを開店したりする経験から、何か物を作るときは様々な専門的な知識や技術を持った人に声をかけて、力を借りるべきと教えてくださいました。自分自身の力だけでなく、周りの人の力を借りることで、自分だけではできないこともできるようになると学びました。これは、今回の観光マップ作成にも活かすことができました。剣淵町の観光の要所で働く方にインタビューを行い、アドバイスを多くいただきました。そのアドバイスが自分たちが作成した観光マップに活かされており、周りの人の力を借りて自分のできることを増やしていけると学びました。他にも荒井さんへのインタビューからは、物を紹介するときは、まず自分が紹介する物について深く理解しないと上手く伝えることができないことを学びました。この学びから、自分たちが剣淵町の魅力を理解していないことに気づき、剣淵町の魅力を体験し、その感想を発信するという活動につながりました。その活動の1つとして、剣淵町内をサイクリングしながら回ってみると、17年間剣淵町に住んでいても知らなかった素晴らしい景色や心地よく走れるサイクリングロードがあることを知ることができました。他にもVIVAアルパカ牧場に行った際に食べたキヌア葉アイスは、剣淵町の名産品になると思うくらい美味しかったです。このように、自分たちが剣淵町の魅力をよく理解したことで、作成した観光マップが剣淵町の良さをより伝えられるものになったと実感しました。

また、剣淵町観光協会の方へのインタビューでは、「お金を使わず頭を使う」「高校生だからできることを考える」というお話をさせていただきました。私はこれまで高校生だからお金は用意できないし、できることは少ないと思っていました。しかし、平さんのお話から決してそんなことはなく、高校生である自分たちからできることが多くあると頭を使って取り組むべきと考えました。例えば、高校生の私たちからインタビューに応じてくれた方やアンケートに答えてくれた方が多くいました。私たちの活動に協力してくれた方々は、仕事中の時間を使ったり、私たちに協力したいという気持ちを持ってきてくれました。高校生が剣淵町に貢献したいと活動していれば、それに協力してくれる人は多くいると分かり、今自分の置かれている環境をポジティブにとらえて活動していくべきと学びました。

これらの学びは、今後音楽活動をしたいと考えている私の将来に役立つ学びであると思います。自分が楽曲を作る時には、専門的な知識や技術を持った人の力を借り、より良い物を作ることができます。その楽曲を広める時には、自分が1番魅力を理解することで、多くの人に魅力が伝わると思います。

このように、今回の活動で学んだことを将来の自分に活かし、より良い人生となるよう、努力を続けていきたいです。

松浦 依舞姫

私は、剣淵町に住み始めて2年目となり、剣淵町の魅力に多く気付いてきました。しかし、友人に「剣淵町を知らない」と言われるたび、もやもやした気持ちを持ち、剣淵町の魅力を何とかして様々な人に伝えたいと思っていました。その時、オリエンテーション合宿に参加させていただき、高校生の私たちにもできることは多くあり、剣淵町に戻ってから活かせる学びをして、今回の活動に取り組みました。具体的に私が今回の活動を通して学んだことは2つあります。1つ目は、時間は自分たちの力で作れるということです。私は普段から学校の授業、課題、寮生活と忙しい毎日を過ごしており、口癖のように「時間が無い」と言ってしまうので、剣淵町のことを知らないと言われるたびに出来るもやもやした気持ちをどう行動に移して解消したら良いか分かりませんでした。しかし、オリエンテーション合宿の際、美瑛町でバーを営む荒井さんにインタビューをしていた時、「時間が作るものだ」とアドバイスをいただきました。自分のやりたいことがあれば、多少のことは我慢してでも、時間を作って没頭した方が良いというお話を聞かせていただき、とにかく今の自分にできることは、観光マップを完成させるという活動に没頭して取り組むことだと感じ、時間が無い中でも、一生懸命に取り組んできました。暑い日に外でサイクリングの体験に行ったり、学校行事が近いにも関わらずインタビューに向かうときは大変な思いをしたり、やはり時間が無いと思うこともありましたが、自分で時間を作り、活動することができました。2つ目は、主体的に情報を発信することの重要性です。私たちが観光マップ作成を行うために町内の様々な場所へ足を運び、剣淵町の魅力が多くあることに改めて気付くことができました。その時、町内の人でさえ気付いていないことが魅力が多い分、剣淵町の魅力を発信する活動があまり行われていないのでは考えました。実際に、絵本作家さんがデザインしたポストの除幕式で「ご当地ポストが3つもあるのは全国で剣淵町だけ」ということを知り、魅力的なことだと思いましたが、このことを発信するメディアが何もありませんでした。やはり、魅力はあっても発信が行われなければ人々に伝わりません。そこで、私たちが主体的に魅力を発信できるよう、新たに学校の公式Instagramに剣淵町の魅力を詰め込んで投稿を始めることにしました。すると、北海道外の方から反応を得ることができ、自分たちが知っていることはもちろんのこと、主体的に情報を発信していくことが重要だと学ぶことができました。

このように、自分で時間を作ることや主体的に情報を発信することは、高校生である今はもちろん、将来大学生、社会人となっても必要な力だと思います。特に大学生や社会人は、自分で目標を立てて没頭して行動できる時間は少なくなると思います。さらに、会社員として働いている人には主体的に情報を発信している人が少ないと思います。だから私は、この活動を通して学んだことを活かし、予測できない社会でもよりよい人生を歩めるよう、頑張りたいです。



1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	グループ	ブロック	北海道
---------	---	---------	------	------	-----

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立大雪青少年交流の家	修了日	2023/7/14	カリキュラムのタイプ	A
フィールドワークの内容	・美瑛町内の散策・美瑛町の観光が繁栄して背景について・町づくりに関わる方へインタビュー・剣淵町の課題と今後の展望について				
実践活動期間	2023/7/21 ~ 2023/11/30				
活動のタイプ	新たな活動				
協力者	主な協力者			協力内容	
	所属	剣淵町絵本の館		インタビュー調査への協力・助言	
	氏名	小西 里佳 さん			
	所属	剣淵町観光協会		インタビュー調査への協力・助言	
	氏名	平 雅彦 さん			
	所属	VIVAアルパカ牧場		インタビュー調査への協力・助言	
氏名	中田 さん				
協力者総数	3名		協力団体数	団体	

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 21 日

事前:準備・打合せ	3日	本番:メインの活動	15日	事後:ふりかえり・報告	3日
-----------	----	-----------	-----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
SNS	自ら発信	1回	剣淵町でサイクリングを行い、風の気持ちよさなど、魅力を発信しました。
SNS	自ら発信	1回	剣淵町の特産品キヌアを使った料理を作り、レビューを発信しました。

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
7/18 ~ 7/20	①事前学習・打合せ等	北海道剣淵高等学校	剣淵町の課題設定
7/21 ~ 7/21	②実践活動本番	剣淵町	サイクリングの実施及びInstagramを活用した魅力発信
8/18 ~ 9/1	②実践活動本番	絵本の館・アルパカ牧場・剣淵町観光協会	インタビュー調査
8/25 ~ 8/25	②実践活動本番	北海道剣淵高等学校	剣淵町の農業特産品キヌアを使った料理を作り、Instagramを活用したレビューの発信
8/18 ~ 11/30	②実践活動本番	北海道剣淵高等学校	観光マップ作成